

なるほど 税新聞

校里小学 岩崎未祐 1月18日(土)発行

こんなにあるの? 税の種類

こんなにあるの?

十月から消費税が10%に上げられようとしています。消費税をはらつているのは日本だけではありません。世界中の人もはらつています。日本ではどんな税がはらわれているのか改めて考えてみましょう。

①所得税

お父さんやお母さんが働いて毎月給料をもらつていれば、その給料の額によって決多くの場合、会社から直接税務署へ納められています。

②消費税

消費税とは、物やサービスを買うときにかかる税です。この消費税はお年寄りから子供まで貧富の差に関係なく買い物をするば同じ

所得税とは、私たちの家族が働いて毎月給料をもらつていれば、その給料の額によって決多くの場合、会社から直接税務署へ納められています。

③法人税

法人税とは、会社か法人の利益に対してかける税のことです。

④相続税

相続税とは、亡くなつた人の財産を譲り受けける時にかかる税です。たとえば、その財産を相続する場合

消費税とは、物やサービスを買うときにかかる税です。この消費税はお年寄りから子供まで貧富の差に

⑤地方税

地方税とは、市町村でも、住民税や固定資産税、事業税、都市計画税などがあげられます。これらは、このように使われています。そのため疑問が生まれてきました。これについてはまとめの部分に書いてありますので、読んでみてください。

中世のフランスには、信じられないほど高い税金がありました。領主の睡眠をさまたげる馬税などもありました。

明治初期の日本には、うさぎ税、クジラ税などありました。領主の鳴き声をやめさせる力エルの鳴き声をやめさせた。

フランスのカエル税は、何を買ったときに書いてありますので、読んでも増やすため、結婚をしないで、結婚したがっても増えます。

日本では1982年まで大年頭につき年300円の税金をかけていました。その後3ヶ月以上の犬を飼っている場合、一頭につき年300円の税金をかけていました。長野県四賀村というところでは、犬の税金をかけました。家が一軒建つほどのかかる税です。

私達はこの一生でいくらかの税金をはらつていくのかどうか。想像するだけで大きな金額になることがわかります。それについて調べてみると、二千万~三千万円ぐらにはらつていることがわかりました。家が一軒建つほどの金額です。これらの多額の税金はどうなことに使われているのでしょうか?またあらため疑問が生まれてきました。

金額です。これまでの多額の税金はどのようなことに使われているのでしょうか?またあらため疑問が生まれてきました。それについて調べてみると、二千万~三千万円ぐらにはらつていることがわかりました。家が一軒建つほどの金額です。これらの多額の税金はどのようなことに使われているのでしょうか?またあらため疑問が生まれてきました。

金額です。これまでの多額の税金はどのようなことに使われているのでしょうか?またあらため疑問が生まれてきました。

☆フランスのカエル税

日本では1982年まで大年頭につき年300円の税金をかけていました。長野県四賀村というところでは、犬の税金をかけました。家が一軒建つほどのかかる税です。これまでの多額の税金はどのようなことに使われているのでしょうか?またあらため疑問が生まれてきました。

おもしろい昔の税金



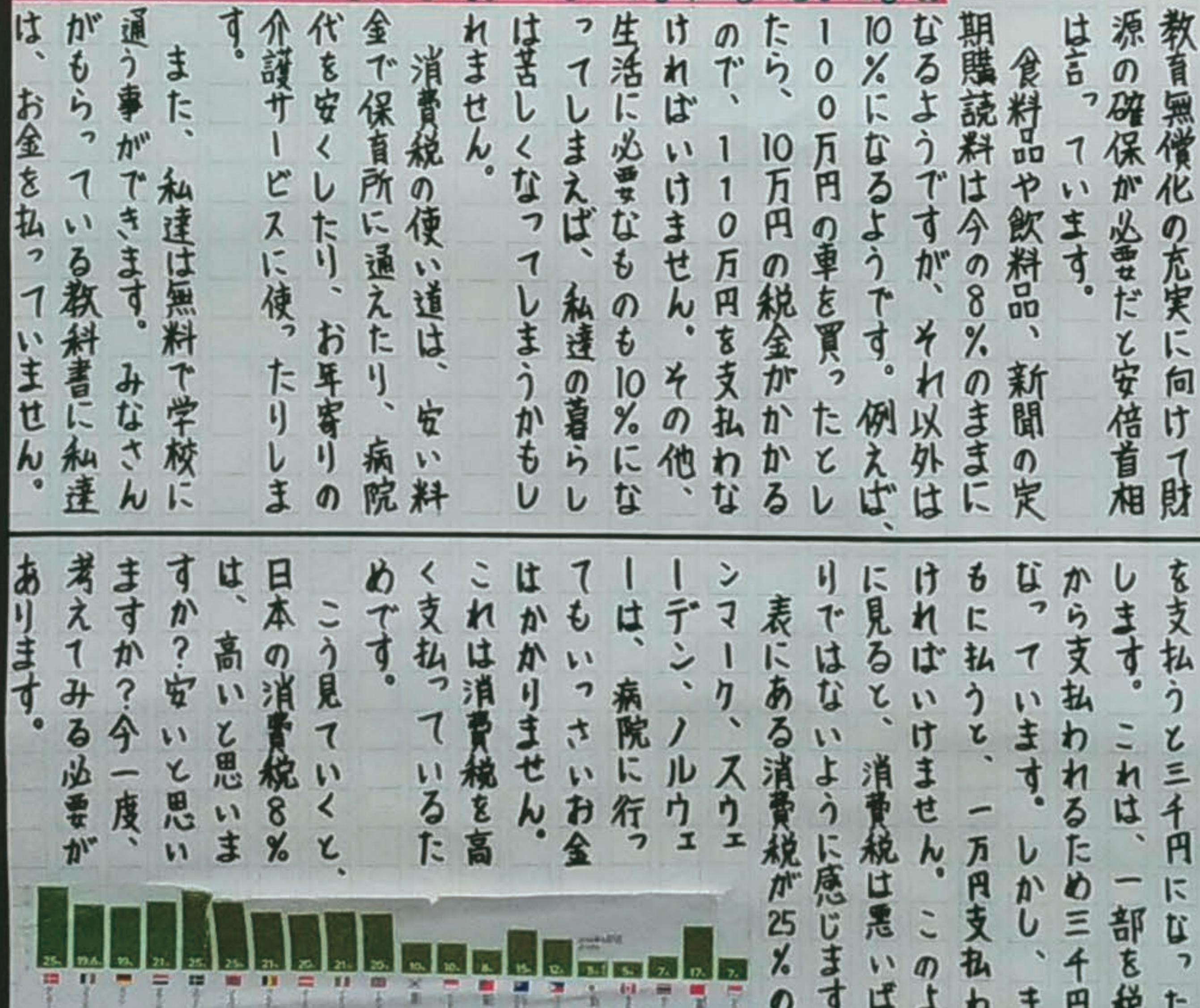
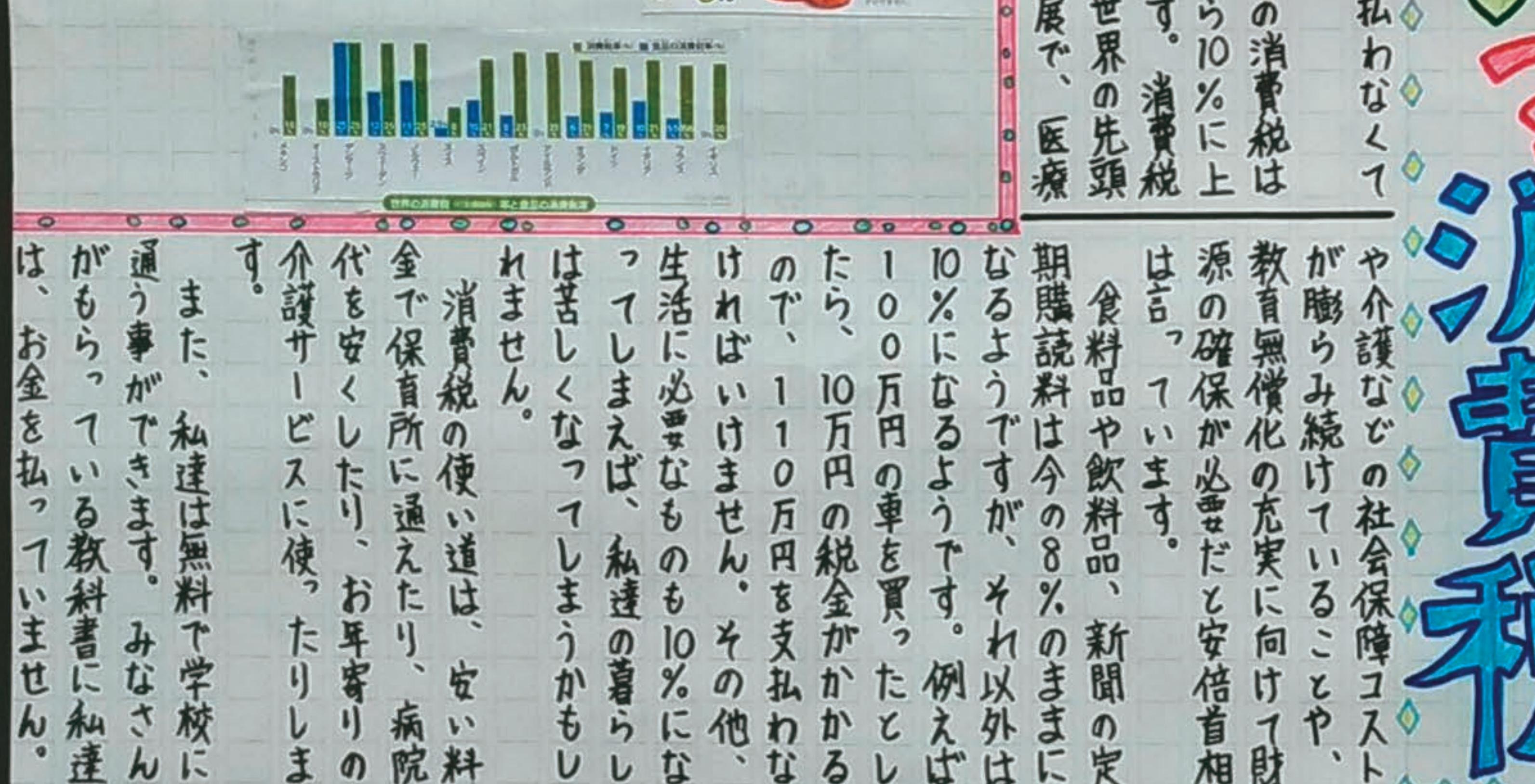
まとめ

世界の消費税

高いの?安いの?消費税

高いの?安いの?消費税

世界の消費税



世界の消費税

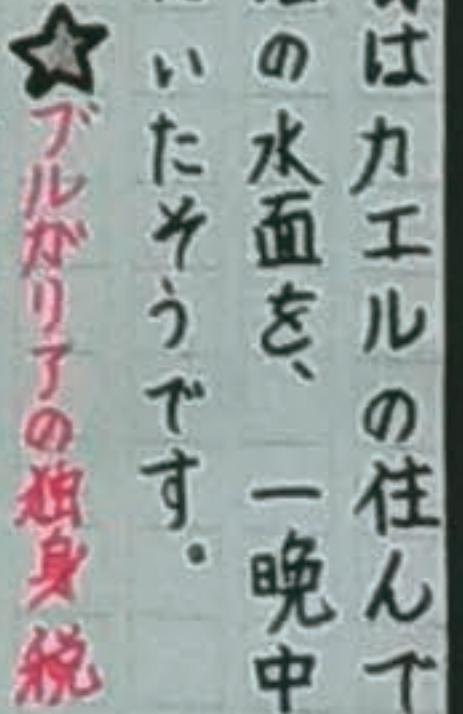
☆日本の大税金



日本では1982年まで大年頭につき年300円の税金をかけていました。長野県四賀村というところでは、犬の税金をかけました。家が一軒建つほどのかかる税です。

日本では1982年まで大年頭につき年300円の税金をかけていました。長野県四賀村というところでは、犬の税金をかけました。家が一軒建つほどのかかる税です。

☆ブルガリアの租税



ブルガリアの租税

